

めぐみ

2024年
5月号

学校法人 聖公会北関東学園
認定こども園
初雁幼稚園
〒350-0057 川越市大手町 8-5
Tel 222-5385 Fax 228-5010

丸広おもちゃ嘔吐事件

教諭 大野 梨紗

みなさんはわが家の大事件はありますか。わが家には、この4月で年少クラスになった保育園児の娘がいます。園では先生の言うこと第一、友だちの姿を告げ口気味の女子(らしい)のですが、家ではなかなかのわがまま。そんなわが家の事件は「丸広おもちゃ嘔吐事件」です。

12月に私の誕生日があり、「丸広の高野フルーツパーラーのパフェが食べたい」とお願いをして家族で行くことになりました。とっっても楽しみにしていた私、高いパフェにローストビーフサンドまで頼み、娘は高級プリンアラモード。私やパパのフルーツだけをねらい、みんなのおいしいところは娘の胃袋に。楽しくおいしい時間が流れました。

そして、「せっかくだし、ちょっと丸広でも見ていく？」なんて思ったのが間違いでした。娘は私が土曜日出勤の時は、決まってパパとトイザラスに行き、お試し品で遊び尽くし、おやつを一つ買って帰ります。出先でも、とりあえずおやつを買えば済むので、そんな軽い気持ちでおもちゃコーナーに立ち寄りしました。しかし、丸広のおもちゃコーナーにはお試し品がほとんどない！とりあえず見ていると、アンパンマンの箱を抱えている娘。「これ買って帰る」と言い出しました。大きいおもちゃは買えないよ、おやつ買いに行こう、小さいおもちゃにしよう、さまざまな提案も虚しく、どんどん怪しい表情に。クリスマスが近かったのですが、もうサンタさんのプレゼント諸々は発注済み。なんなら家にある。「ほら、Amazonに頼もうよ」と通販を提案。Amazonで半値近くで売られているのを発見。ますます買うことなんてできず、「じゃあ動画に撮ってばあばに頼もう」と動画を撮るも、今欲しい娘。わかります、私が寄ったのが悪い。でももう後には引けず、無理矢理抱えて避難。道ゆくおばさまに微笑まれながら、魚のような娘と一旦屋上へ。ますます泣き叫び、一回咳き込んだと思ったら、ついにやってしまった、嘔吐。私のコートと鞆に、先ほどの高級高野フルーツが流れました。あたふたする夫、「店員さん呼んできて」と叫び、ありったけのティッシュでどうにか拭き続けました。久しぶりのお出かけ、ワクワクした私はその日に限っておニューの上着に鞆、しかも高級フルーツを吐くなんて!!静かにキレまくる私に、娘もまずいと思ったのか「今度にするううう」と涙。店員さんに平謝りし、「抱っこもしない、手なんてつながらない!帰る!!」と早足の私。トラブルに弱く、イライラしやすいパパも私のキレ具合に娘のフォローにまわります。この後はアトレに行こうなんて思っていたのもすべてなし。自分のイラつき具合とうる目の娘の姿を見て、なんだか涙が…。

最悪な雰囲気の中、家に着きしばらくすると、パパと静かに謝ってきました。「いいよ」とぼそっと伝えました。「まだまだだな私」と自分の未熟さを実感。でも、後から振り返るとついつい人に話したくなる大事件。子育てっていろいろある。いろいろあるからおもしろい!その時にはそんなこと思えないのですが、今しかないこの姿、もっと受け止めなくては、楽しまなくては、と感じる日々です。

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

今月のテーマ

「だいじょうぶ」

今月のねがい

- 身近な自然、生き物やさまざまな素材に触れてみる
- やってみたい遊びに自分から動き出し、楽しみに登園する
- 神様に守られていることを知る

学年別のねがい

- (1歳) 園生活になじみ、いろいろなものに気づく
- (2・満3歳) 周りの環境に目を向ける
- (年少組) いろいろなことをやってみる
- (年中組) それぞれに興味を広げて親しむ
- (年長組) 年長ならではの活動を楽しみ、頼られる喜びを感じ始める

ひとこと

子どもも大人も気持ちがソワソワしていた4月が終わり、まだまだ朝の涙はあっても、ぐっと落ち着き始める5月。少しずつ気持ちも落ち着き、自分から好きな遊びを見つけ、より笑顔があふれてくるころでしょう。園庭にいれば、ダンゴムシやミミズと出会い、夢中で集めている子どもたち。散歩に出れば、様々な野花や虫との出会いに目がキラキラと輝きます。どんな君でも大丈夫！ありのままの姿で過ごせるよう寄り添っていきたいと思います。

今月の聖歌

「あっちのいえから」



★予定★

日	曜	行事などの予定
1	水	
2	木	親子遠足（年長） ※年長児預かり保育なし
3	金	憲法記念日
4	土	みどりの日
5	日	こどもの日
6	月	振替休日
7	火	
8	水	
9	木	親子遠足（年中）※年中児預かり 保育希望要相談 アルミ缶回収
10	金	全体礼拝 ↓
11	土	就労家庭保育実施日 幼稚園委員会① 出版感謝パーティー
12	日	
13	月	カレー会食
14	火	園児内科健診①
15	水	
16	木	親子遠足（年少） ※年少児預かり保育希望要相談
17	金	全体礼拝
18	土	就労家庭保育実施日
19	日	聖霊降臨日 教会バザー 学園理事会
20	月	
21	火	おはなしの会（年中少組）
22	水	
23	木	
24	金	全体礼拝
25	土	就労家庭保育実施日
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	5月生まれ誕生会（出し物：年長）
30	木	
31	金	全体礼拝

チャプレンのページ



礼拝の祝福

子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された

(マルコによる福音書 第10章16節)

初雁幼稚園では、誕生日会や幼児祝福式の時などに、園児の祝福を行います。これは、チャプレンが子どもたちの頭に手を置いて、神様の祝福を祈る形で行われます。

イエス様は、ガリラヤ地方を中心に神の国について教えを宣べ伝え、奇跡を行ったりしていくうちに、イエス様の回りにはいつも人が集まるようになっていました。それは大人だけではなく、子どもたちもいたのです。

子どもたちがイエス様のところへ走り寄ると、大人たちは言いました。「こらこら、イエス様はお忙しいんだ。子どもはイエス様の話が分かるわけがない。あっちへ行きなさい」。

それを聞いたイエス様は言います。「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである」。(マルコによる福音書第10章14節)

子どもたちは、神の国についての話や、難しい教えは確かにわからなかったかもしれませんが、しかし、イエス様の存在を全身で感じ、受け止めていたのです。

人間は大人になると、話を聞いているような態度をしながら、この話はいつ終わるのだろうかとか、今夜のご飯はどうしようかな…、などと考えることがありますけれども、子どもたちはそのようなことはなく、純真な心でイエス様のところへ向かっていたのです。この心を失ってはならないのだと言われたのです。

そしてイエス様は子どもたちの頭に手を置いて、「神様のお恵みが豊かにありますように」とお祈りされたのです。

幼稚園の礼拝では、チャプレンが子どもたちの頭に手を置いてお祈りしますが、実は、イエス様ご自身が子どもたちの頭に手を置いておられます。チャプレンはイエス様の役割を目に見える形で表すのが務めで、目に見えないイエス様の祝福を、子どもたちに伝えるのが役割だからです。ちなみにチャプレンが着ている式服も、イエス様の代理であることを示すもので、素敵だから着ているわけではありません。

保護者の皆様も、誕生日礼拝や幼児祝福式等で、子どもたちの祝福の場面をご一緒することがありますが、イエス様ご自身による祝福が行われているのを、ご理解いただければと思います。

子どもたちの成長はもちろん、目に見える存在を通して続いていくのは事実ですが、目に見えない存在、自分を包み込む大きな存在を実感しつつ、心を含めた成長を成し遂げていくのが重要です。

こうした存在を幼児期からしっかり認識し、大切に作る人間に育ってほしいと願っています。子どもたちと保護者の皆様、ご家族の上に、主の豊かな祝福と導きをお祈りいたします。

(チャプレン 鈴木 伸明)

クラスまどの窓



つくし組

お外っておもしろい!!



つくし組には4月から初雁幼稚園に入ったばかりの新しくて小さな友だち6人がいます。初めて園生活を送る子が多く、朝の登園は保護者の方とのお別れが寂しくて涙することもあるけれど、友だちや保育者とたくさん遊んでおいしいご飯も食べて少しずつ園生活に慣れてきているように感じます。

そんなつくし組の主活動はお散歩。初はバギーが苦手で泣いていた子も今ではバギーが好きになり揺れる心地よさ、様々な景色を見られる楽しさを感じているように思えます。バギーが苦手な子は保育者が抱っこしたり、時には手をつないで歩いてみたりと子どもたちが安心できる方法で日々の散歩を楽しんでいます。散歩中は春ならではの植物をみんなで観察し手に取って触ってみたり、すれ違う人や車に手を振ったり、生き物を眺めたり…たくさんの刺激を受けながら楽しく過ごしています。幼稚園の周りにはいろいろな散歩スポットがまだまだあるので、みんなで散歩しながらいろいろな発見をしていきたいです!!

もも組

春の訪れを発見しながら

もも組になり、部屋は1階になりました！すぐ近くにちゅうりっぷ組がいて、すみれ組やたんぽぽ組のお兄さんたちももも組の部屋をのぞいてくれるので、もも組のみんなもなんだかワクワクそわそわしています♪散歩に出発する際もお兄さんたちに「行ってらっしゃい」と言われると、「いってきます」と手を振って出掛けています。出発すると春の訪れをたくさん発見するもも組。特にみんながお堀と呼んでいる場所にはだんご虫やてんとう虫がたくさんいます。保育者が「いたよー」と伝えると「どこどこ？」とみんなで見に来ては小さくかがんで虫目線で観察したり、潰さないように慎重に捕まえようとしていて、とてもかわいらしいです。また、お堀へ行く途中にたんぽぽがたくさん生えている場所があり、よく寄り道をしています。みんなで綿毛を摘んで種をとばすのがブームです。ぶんぶん左右に振る人もいれば一生懸命に「ふーふー」吹く人もいます。これからもっといろいろなところで楽しい発見をして、友だちやお兄さんたちにも教えてあげられるといいなと思います。

ちゅうりっぷ組

制作第一弾！

4月新生活がスタートしドキドキの新入園児、進級し環境が変わりドキドキの在園児、きつとお家の方もドキドキ！それぞれドキドキの生活が始まりました。年少クラスの4月といえば泣き泣きの大合唱!?!と聞きや、朝お家の方と離れる時以外は思いのほか落ち着いていたちゅうりっぷ組でした。園庭で遊び始める子、部屋でゆっくりと制作や粘土を楽しむ子、周りの様子をじーっと観察している子とさまざまですが、皆自分のペースで園生活に慣れてきてくれているようです。

園での制作第一弾はこいのぼり制作&てんとう虫！ウッドデッキに机を出し、手のひらを使って大きな鯉のぼりの土台の紙に思い切り絵の具を塗り広げていきました。赤や青で染まった手を「ほらー!!」と嬉しそうに見せ合い、「ここにも（絵の具）ある」、手を洗う時には「泡が色ついてる！」何から何まで楽しい様子にこちらも思わず笑みがこぼれてしまいます♡ 新年度が始まり1ヶ月…そろそろ緊張の糸も切れるころかと思えます。泣いて笑って怒って…いろいろな感情が出てくると思いますが、一年楽しく元気に過ごして行けたらと思っています。

たんぽぽ組

たんぽぽ組がスタートしました！

朝のお支度、お昼の準備、帰りのお支度。毎日とても張り切っています。ある日、「先生は今まで小さな友だちのクラスにいて、まだ分からないことがたくさんあるから教えてね」と話しすると、「お祈りはこうやるの」と見本を見せてくれたり、「今日は何人いるの？」と椅子を並べ、椅子の数をみんなで数えて「これで大丈夫だよ」と準備してくれたり。たんぽぽさんの優しさに毎日胸がほっこりしています。たんぽぽ組になり大きく変わったことは個人持ちの道具が増えたこと。クラスでクレパス、マジックの使い方を一つずつ確認しました。クレパスを使って誕生日表づくりやこいのぼり制作、マジックを使って自由画帳にお絵描きをしました。使った後はキャップをし、ケースの蓋をしめ自分の引き出しの中へしまう姿に感心しました。自分の物はやっぱり嬉しいですね！自由遊びでは思い思いの遊びが繰り広げられます。木登り、砂場で山づくり、空き箱制作…。20人、新学期それぞれのペースでスタートしました！心を動かしながらいろいろなことを学び、乗り越えていってほしいと思います。

すみれ組

あぐれっしゅへ…初めてのクラス活動

ピカピカの紫バッチに胸踊らせる子どもたち。4月から20人ですみれ組が始まりました。すみれ組は4月からやることがたくさんあります。まずは当番活動です。初めてのことに緊張

するかなと思っていましたが「当番をやりたい」という子が多く、自信満々に当番をがんばっています。他の子どもたちも「次は自分の番かな」と楽しみにしています。

そして野菜の栽培も始まりました。今年は3グループに分かれ、グループごとに野菜を決めました。すみれ組になり初めてのクラス活動です。アグレッッシュに行くまでの道中はたんぼぼが咲いており、綿毛を飛ばしたい気持ちとアグレッッシュに行きたい気持ちと葛藤しながら向かいました。お休みの子どもいましたが、「お休みの子は何が好きかな」と思い出しながらグループごとに話し合い、野菜は枝豆、きゅうり、こどもピーマンに決めました。プランターに土を入れ苗から育てます。毎日「大きくなならないかな」と観察したり、土が乾いていることに気づきお水をあげたり、「早く食べたいな」とどんなふう食べるか考えていたり。まだまだ実はつかないですが、子どもたちと一緒に発見や気づきを喜びながら子どもたちも野菜も見守っていきたいです。



わが家のまど



(312) 大黒柱の還暦

保育部教諭 小島亜希子

今年の2月に大黒柱が還暦を迎えました。俗にいう定年も迎えることとなります。その何か月前から、定年後のライフプランや収入の面と何かと話し合うことが多くなりました。そして、たまりにたまった有休消化期間をどのように過ごすのか…。2ヶ月くらいあって、毎日家に居るのも（居られるのも…ですが）飽きるだろうし、この際行っておきたい所に行ったら？と言っても重い腰はなかなか上がり、以前頂いていた旅行券を使って旅館にでも…と投げかけて、ようやく行き先が決まり予約もしましたが、能登半島地震が発生し、雲行きが怪しくなりました。行き先は富山県氷見市。旅行予定日は1月14日・15日。ニュースや旅館のHPをみても断水している地域で、これは無理と断念せざるを得ませんでした。それとは別に、子どもたちが還暦祝いを催そうと計画を進めていました。食事・プレゼント・ケーキ…。誕生日当日のほうがり上がるだろうと、各々が調整し集まったことはとてもうれしかったです。寿司屋で昼食、家に戻りケーキにプレゼント。盆と正月が一度にやってきた状態でした。その後囑託として、現役の時と同じ役割の仕事が始まり、5月末まで横浜に単身赴任中であります。

(313) 米ができるまで

保育部教諭 味戸夢香里

以前本屋さんで『もったいないばあさんのおばあちゃん』という絵本を見つけました。内容は題名の通りもったいないばあさんのおばあちゃんが出てきていろいろなことを教えてくれるのですが、その中にお米がどんなふうに見えるのかが描かれていました。それを見ていたらこ

の間参加した稲の種まきのことを思い出しました。私の父方の祖父母は米農家で、大学生の時に手伝いに行ったこともありましたが、働き始めてからは機会も減り、なかなか関わることもないかと思っていました。しかし、なんと姉が農家に嫁いだのです！というわけで毎年種まき、田植え、稲刈りなど手伝いに行けるときは手伝いに行っています。3月末に私は戦力として実家に帰り、大好きな甥っ子3兄弟と一緒にいざ種まきへ。甥っ子は今年度小3、小1、年少なのですが、長男はすでにお米の品種も把握しており、田植えの時期は田植え機を1人で乗りこなす男。次男、三男はサボることもあります。みんなそれぞれができることを頑張っています。同じ作業の繰り返しではありますがあつという間に時間が過ぎ、暑い日のハウスの中は本当にしんどいのです。それでも休憩時間の和菓子を楽しみにがんばる甥っ子の姿はかわいくて仕方がありません。農家の数は年々減っていてお米がどのようにできるかも知らない子どもたちが増えている時代にこの生活が当たり前の甥っ子たちは幸せだなあと感じます。次は田植えと稲刈りです!! (今年の田植えの写真です♪)



今月の聖書のおはなし



☆ 5月10日 「思い悩むな」

マタイによる福音書6:25~34

「明日は何を食べようか、何を着ようか」と、明日のことで悩むことはよくあると思います。でも、神様はいつでも必要なものを与えてくださいます。それに、私たちはすでに、神様が与えてくださった身体や命をもって、神様に生かされています。だから、「明日のことまで思い悩むな」、今あるものを大切に作る姿を見て、神様は喜んでくださいます。

☆ 5月17日 「子どもを祝福されたイエスさま」

ルカによる福音書18:15~17

イエスさまに触れていただくために、人々が子どもたちを連れてきました。弟子たちは「ここは、子どもの来るところではない」と、人々を叱りました。ところが、イエスさまは「子どもたちをわたしのところに来させなさい。神の国はこのような者たちのものである」と言って、子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福されました。

☆ 5月24日 「求めなさい」

マタイによる福音書7:7~12

「あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」幼稚園での出来事を通して、イエスさまの教えを子どもたちにお話しします。

☆ 5月31日 「カナの婚礼」

ヨハネによる福音書2:1~12

ガリラヤのカナという町で婚礼があり、イエスさまと弟子たちも婚礼に招かれました。そこで、招かれた人々に振る舞うぶどう酒が無くなってしまおうというトラブルが発生します。しかしイエスさまは、水がめに水を入れるように言い、その水をぶどう酒に変えて、危機を喜びに変えた上、結婚を祝福されました。どんなことでも神様はできると、人々が初めて知り得た瞬間であり、イエスさまが最初に行なった奇跡のお話です。